

拡張登録地「屋久島・口永良部島」の概要について

1. 名称:

やくしま ぐちのえらぶしま
屋久島・口永良部島生物圏保存地域 (屋久島・口永良部島ユネスコエコパーク)

2. 背景:

1980(昭和55)年にユネスコエコパークに登録されているものの、1995(平成7)年にユネスコエコパークの機能として、「経済と社会の発展」が追加されたため、その機能を果たす移行地域の追加設定が求められたことから、今回、移行地域の設定を含めて拡張申請を行い登録されたもの。

3. 構成自治体:

やくしまちょう
屋久島町 (鹿児島県)

4. 特徴等:

○特徴

- ・屋久島・口永良部島生物圏保存地域は、鹿児島県の屋久島と口永良部島の全域と沿岸の海域からなる。
- ・屋久島は、九州の佐多岬から南南西約 60km の海上に位置し、面積約 504 km²、周囲約 132km のほぼ円形の島である。島の中央部に九州最高峰の宮之浦岳(1,936m)を主峰に山岳が連座し、平成5(1993)年12月には、山岳部を中心とした 10,747ha(島の 21%)が、日本で最初の世界自然遺産に登録された。
- ・口永良部島は、屋久島の西北西約 12km に位置し、面積約 38 km²、周囲約 50km で、ひょうたん型の島である。新岳及び古岳が現在も火山活動を続け、特異な火山景観となっており、全域が屋久島国立公園に指定されている。

○面積

総面積 78,196ha (18,958ha)

- ・核心地域 12,359ha (7,559ha)
- ・緩衝地域 20,137ha (11,399ha)
- ・移行地域 45,700ha (0ha)

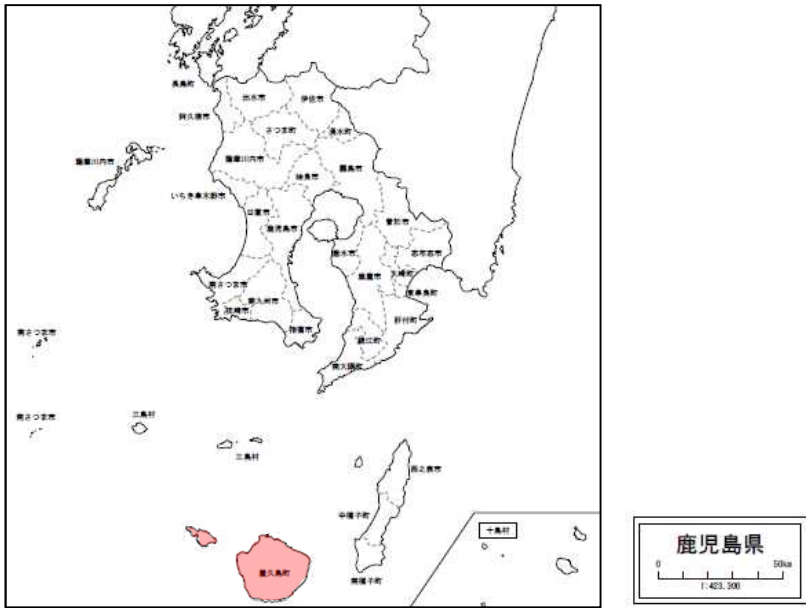
・上記カッコ内は、拡張前の面積を示す。

※ 核心地域と緩衝地域は、世界自然遺産地域が含まれる屋久島国立公園、屋久島森林生態系保護地域、屋久島原生自然環境保全地域等に指定されており、適切な保護・保全が図られている。

※ 移行地域は、核心地域及び緩衝地域以外の陸地に加え、離島の地域条件を生かし島の沿岸を取り囲むように海域を設定している。島の人々の暮らしは、海・里・前岳・奥岳が一体となり、豊かな自然と人が深く結びついた生活が営まれ現在も観光産業が中心となっている。

拡張登録地「屋久島・口永良部島」の位置等

位置

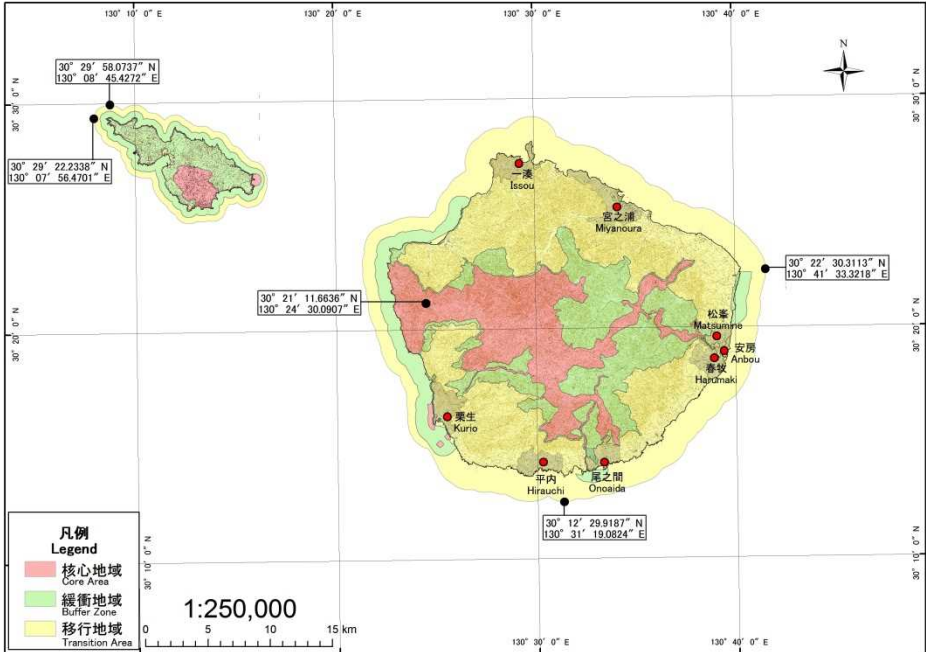


範囲・ゾーニング



- 核心地域 (Core) 7,559ha
- 緩衝地域 (Buffer) 11,399ha

【拡張前】



- 全域 781.96 km² (うち海域 241.30 km²)
- ・屋久島 705.66 km² (海域 200.77 km²)
 - ・口永良部島 76.30 km² (海域 40.53 km²)
- 核心地域 123.59 km² (海域 1.71 km²)
- ・屋久島 114.06 km² (海域 1.14 km²)
 - ・口永良部島 9.53 km² (海域 0.57 km²)
- 緩衝地域 201.37 km² (海域 56.34 km²)
- ・屋久島 154.16 km² (海域 35.28 km²)
 - ・口永良部島 47.21 km² (海域 21.06 km²)
- 移行地域 457.00 km² (海域 183.25 km²)
- ・屋久島 437.44 km² (海域 164.35 km²)
 - ・口永良部島 19.56 km² (海域 18.90 km²)

【拡張後】